

```

*****
**                                     **
**                               ソフトウェア説明書                               **
**                                     **
**                   CAFIS COUPLER V1.0 L10                   **
**                                     **
**           All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 1997           **
**                                     **
*****

```

はじめに

本書では、当製品の使用に際して注意すべき事項や参考となる情報を説明します。本書の構成は次のとおりです。

- 1 . 製品概要
- 2 . 製品構成
- 3 . ハードウェア条件
- 4 . ソフトウェア条件
- 5 . インストール手順
- 6 . サービスの登録
- 7 . アンインストール手順
- 8 . サービスの削除
- 9 . サンプルプログラムについて
- 10 . 注意事項

1997年5月

Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

CAFISは、弊社がNTTデータ通信株式会社から使用を承諾されている名称です。本ソフトウェアは、CAFISセンタとの接続の目的以外にはご使用できません。

1 . 製品概要

CAFIS COUPLERは、CAFISセンタとの接続を可能とする通信ソフトウェアです。複雑なCAFISプロトコルを意識することなく、CAFISセンタと通信が可能なプログラミングインタフェースを提供します。

2 . 製品構成

CAFIS COUPLERは、以下の2枚のフロッピーディスクおよび1冊のマニュアルから構成されています。

- CAFIS COUPLER システムディスク 1 ~ 2
- CAFIS COUPLER解説書 (J1FN-L010-01)

3 . ハードウェア条件

当製品を動作させる上で必要となるハードウェア条件を以下に説明します。

項番	製品名	型名	備考
1	FM-V FM-Server GRANPOWER		Windows NT Server V3.51以降 または Windows NT Workstation V3.51以降 が動作する機種。
2	通信カード V / X または 通信カードV	FMV-161 FMS-162()	FMS-162は、FM-ServerまたはGRANPOWER でのみ使用可能。

当製品をインストール、動作させる上で必要となる資源を以下に説明します。

項番	資源名	サイズ	備考
1	ハードディスク	2 . 5 M B	インストール時。

2 メモリ 10MB 通常動作時。
OSなどの使用域は含んでいない。

4. ソフトウェア条件

当製品を動作させる上で必要となるソフトウェア条件を以下に説明します。

項番	製品名	V / L	型名	備考
1	Windows NT Server	V3.51	B293C0071	
	または Windows NT Workstation	V3.51	B293C0051	
2	COBOL 85 ランタイムシステム	V30L20	B298A2610	シミュレータにデータを登録する際にコンパイラが必要。
	または COBOL 85	V30L20	B298D2600	
3	通信制御サービス	V1.1L40	B293D1050	CAFISとの接続する際のX.25通信に使用。
4	SymfoWARE Personal for WindowsNT	V4.1L10	B293C10Q2	ACMを使用。

上記以外の組み合わせの場合は、個別に確認が必要となります。

5. インストール手順

当製品のインストールは、システムディスク1のセットアッププログラム(setup.exe)を実行することにより行います。インストールプログラムを実行し、表示される画面の指示に従って順に入力を行うと、インストールが完了します。

```
**【注意事項】*****
** - インストールディレクトリに空白を含めないでください。 **
**   空白を含むディレクトリや長い名前のディレクトリにインストールを行う **
**   と正常に動作しないことがあります。 **
** - インストールした後にサービスの登録が必要です。 **
** - インストールした後は環境変数の設定が必要です。 **
**   ソフトウェアを起動する前に必ず再ログオンしてください。 **
** - インストールを行ったユーザと異なるユーザで起動する場合は、環境変 **
**   数の再設定が必要です。 **
**   以下の方法で環境変数を設定してください。 **
**   1) [コントロールパネル]を開き[システム]をダブルクリックして **
**      ください。 **
**   2) システム環境変数または、ユーザー環境変数にCUPLIB環境変数を追加 **
**      し、製品をインストールしたフォルダに設定してください。 **
**      (例) 環境変数 CUPLIB C:¥c-coup **
**   3) 再ログオンしてください。 **
*****
```

インストールが終了すると、グループに以下のアイコンが登録されます。

- CAFIS COUPLER Manager
- CAFIS COUPLERのヘルプ
- ソフトウェア説明書
- アンインストール

標準インストール、またはカスタムインストールでシミュレータが選択された場合には、以下のアイコンも登録されます。

- シミュレータ

インストールが終了すると、以下に示すフォルダが作成されます。

【¥c-coup】 このフォルダは、インストール時に任意のフォルダに変更することができます。このフォルダには、以下のフォルダが含まれます。

【¥acm】 ACMのツールが格納されます。

【¥bin】 C-COUPLERの実行モジュール、DLLが格納されます。

【¥lib】 C-COUPLER提供ルーチンのライブラリモジュールが格納されます。

【¥dat】 C-COUPLER実行時のデータファイルが格納されます。

- 【%etc】 C-COUPLER環境定義ファイルが格納されます。
- 【%usr】 C-COUPLER起動用バッチファイルが格納されます。
- 【%help】 C-COUPLERのヘルプファイルが格納されます。
- 【%sim】 CAFISシミュレータの関連ファイルが格納されます。
- 【%sample】 サンプルプログラムが格納されます。

インストールが完了すると、インストールしたマシンのレジストリ情報にCAFIS COUPLERのインストール情報が格納され、ユーザ環境変数CUPLIBにCAFIS COUPLERのインストールフォルダが設定されます。

6. サービスの登録

CAFIS COUPLERを動作させるためには、サービスの登録が必要です。現在のバージョンでは、インストール時にサービスの自動登録は行われませんので、下記の手順により登録してください。

- (1) プログラムマネージャ（またはスタートメニュー）からCAFIS COUPLER Managerを起動します。
- (2) [サービス]メニューの[コントロールパネル]を開きます。
(WindowsNT提供する[メイン]グループの[コントロールパネル]とは異なります)
- (3) 「マネージャ」と「通信制御」のそれぞれの[登録]を選択し、サービスを登録します。
- (4) 登録に失敗したときは、速やかに原因を調査します。

7. アンインストール手順

当製品のアンインストールは、プログラムグループに登録されているアンインストールプログラムを実行することにより行います。アンインストールプログラムを実行し、表示される画面の指示に従って順に入力を行うと、アンインストールが完了します。

```

**【注意事項】*****
** - アンインストールの前にサービスの削除が必要です。 **
** - サービスの削除方法は、8.を参照してください。 **
** - アンインストールは必ずアンインストールプログラムで行ってください。 **
** アンインストールプログラム以外で正常にアンインストールすることは **
** きません。アンインストールプログラム以外でアンインストールを行った **
** 後の動作保証はできません。 **
*****

```

8. サービスの削除

CAFIS COUPLERをアンインストールするときは、サービスの削除が必要です。現在のバージョンでは、アンインストール時にサービスの自動削除は行われませんので、下記の手順により削除してください。

- (1) プログラムマネージャ（またはスタートメニュー）からCAFIS COUPLER Managerを起動します。
- (2) [サービス]メニューの[コントロールパネル]を開きます。
(WindowsNT提供する[メイン]グループの[コントロールパネル]とは異なります)
- (3) 「マネージャ」と「通信制御」のそれぞれの[削除]を選択し、サービスを削除します。
- (4) 削除に失敗したときは、速やかに原因を調査します。

9. サンプルプログラムについて

サンプルプログラムの説明については、サンプルプログラムがインストールされているディレクトリ(デフォルトではC:\%c-coup%sample)のreadme.txtを参照してください。

10. 注意事項

- (1) ユーザ出力ルーチンはCOBOL、Cのどちらで作成しても構わないが、呼出しはCOBOLサブルーチンとして呼び出しているため、各言語の使用手引書の注意事項を厳守する。Cの関数形式で作成した場合は1つの関数を1つの共用ライブラリとしなければならない。参考。「COBOL.85使用手引書」

- (2) 業務プログラムはCOBOL、Cのどちらで作成しても構わないが、提供ルーチンはCOBOLサブルーチンであるため、各言語の使用手引書の注意事項を厳守する。
参考:「COBOL85使用手引書」
- (3) CAFIS COUPLERを起動時に提供ルーチンを使用している業務プログラムを起動してはならない。提供ルーチンを使用している業務プログラムはCAFIS COUPLER起動前または運用開始メッセージ(CUP12021)出力後に起動する。
- (4) CAFIS COUPLERはシステム間のルーティング管理はサポートしていない。連絡メッセージをシステム間でルーティングするときは、マニュアルP26に示す"ルートの寄道"の概念を用いてユーザ責任によって行う。
- (5) CAFIS COUPLERを2つ以上同時に起動することはできない。2つ以上同時に起動したときの動作は保証されない。C-COUPLER起動コマンド(cupstart)によって2つ同時に起動しないように注意する。
- (6) Mシリーズ版、Kシリーズ版の業務プログラムを移植する場合は、下記の項目について連絡メッセージに非互換があるため注意が必要である。
- 制御域(32バイト)が削除された。
- (7) 本ソフトウェアを使用するにあたっては、弊社技術員を経てユーザ登録を実施くださいますようお願いいたします。ユーザ登録を行わないとソフトウェアの最新情報をご連絡することができません。
- (8) 添付のCAFISシミュレータでは以下のテスト項番についてシミュレートすることはできない。
- B-15 ~ 17
- C-34 ~ 36
- D-08
- H-09 ~ 23
- I-09 ~ 21
また次のテスト項番については、「CAFIS接続試験実施要領」に記載されている試験と異なっている。
- G-03
- H-08
- I-08
詳細情報については、弊社技術員にお尋ねください。
- (9) JPAS(パスワード変更)コマンドにより暗号化パスワードを変更したときは、次回起動時にパスワード変更を認識し、開局時にCAFISセンタとパスワード変更手続きを行う。ただし、パスワード設定後ファイルを再創成すると、パスワードは初期化されるので注意する。(パスワードは、COLDによって初期化されない。)
- (1 0) CAFIS COUPLERの常駐プロセスは10+ である。
:同時にタイマ監視する数(最大:仕向経路数+2)
- (1 1) CAFIS COUPLER Managerが正常に動作するためには、Administrator権限あるユーザでログインする必要がある。また、CAFIS COUPLERが必要とする環境変数が設定されている必要がある。
CAFIS COUPLERが必要とする環境変数は下記の通りである。
- CUPLIB環境変数:CAFIS COUPLERをインストールしたディレクトリパスを設定する。(例:C:¥C-COUP)
- PATH環境変数 :CAFIS COUPLERのモジュールディレクトリパスを追加設定する。(例:C:¥C-COUP¥BIN)
- (1 2) CAFIS COUPLERが動作するためにはACMの環境定義として下記の資源が必要となる。
論理宛先数 : 25[個] 以上
メッセージ域サイズ: 400[KB] 以上
メッセージ数 : 100[個] 以上

- 以上 -